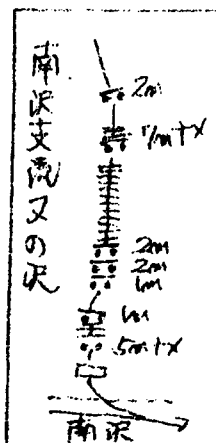


## 南沢支流ヌの沢

1988年7月23日



9:50ヌの沢(仮称)の遡行開始。出合の砂防ダムを越えると5mのナメ滝が出てきた。小さな沢だからあまり期待していなかったが、これを見て先に淡い期待を抱いた。しかし、その後は7mのナメ滝だけで、平凡なままで終わってしまった。10:05遡行終了。

(記・)

[タイム] ヌの沢出合(9:50)→終了(10:10)

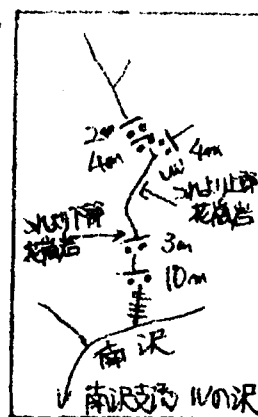
## 南沢支流ルの沢

1988年7月23日

ルの沢(仮称)は、出合のすぐ奥に10mの滝をかけたいる。水量は少ない。シャワーで直登し、その上の3mを越えると岩質が変わった。今までの花崗岩に変わって、棚倉破砕帯を構成する黒い岩の出現である。このあたりでは、黒い岩が出てくると、滝がかからなくなる。ちょっとがっかりして進むと、すぐまた花崗岩に変わった。

花崗岩の大岩が沢を塞ぐような感じで横たわっている。右側から回りこんで越えると、もう源頭であった。

(記・)



[タイム] ルの沢出合(9:15)→終了(9:25)

## 南沢支流ヲの沢右俣、左俣

1988年7月23日

カの沢(仮称)の遡行を終え、四ツ沢のピークを確認してからヲの沢(仮称)の下降に移ろうと、尾根上を少し歩く。しかし三角点を確認できず、四ツ沢のピークを特定できなかった。尾根上には小さな岩峰が目立ったが、位置からいって四ツ沢のピークではない。大きなアカマツのあるピークが四ツ沢のピークだろうか。